

令和8年度・事業計画

I. 令和8年度 事業方針

(1) サービス品質の基本理念

- ①人間らしい生活(尊厳)、②その人らしい生きかた(個性)、③お互い伝え合うぬくもり(絆)

(2) その具体的な品質方針

- ①地域で生活する全ての高齢者が、安心して生活できる環境づくり
- ②職員教育と福祉活動に適したプログラムを作成し、職員のスキルアップを図る
- ③相互の心の触れ合う機会を多くし、笑顔と愛情に包まれた雰囲気をかもしだす
- ④品質方針を達成するため、職員は自身の健康管理に努める

II. パールの重点目標 6区分

1. 品質の維持・向上

(1) 人材の育成・確保

- 人材確保育成室を中心とした人材確保の計画的な取り組み実施
- 派遣会社(派遣・紹介)に頼らない採用活動の強化
- マイナビ新卒・マイナビ中途の活用
- 年間休日110日から122日に増加
- 新卒者の確保(大卒3名・専門3名・高卒3名)
- 学生アルバイトの増員(目白大学)
- 外国人アルバイトの採用(日本福祉教育専門学校)
- 特定技能4名(特養2名・通所2名)の採用と受け入れ
- 年2回・渋谷区特養施設長会主催合同就職フェアの開催
- スキマバイト(カITEK)の活用拡大

(2) 住み慣れた地域で最期まで過ごせる地域基盤整備

- 地域拠点として、地域ケア会議・地域連絡会・介護者教室・出張相談会等の開催
- 各種連絡会・協議会でのリーダーシップの発揮と行政へのソーシャルアクション

2. サービス利用促進のための計画

(1) 新たな事業展開への取り組み

- 居宅介護支援事業所の職員増員(1名)と特定加算Ⅱの取得(本部)
- 月1回の連携推進会議の開催と自サービスへ繋げられる体制強化
- 通所介護の食費値上げの実施

(2) 広報・営業活動強化

- ホームページからの情報発信
- インターネット媒体を活用した情報発信強化(インスタ・YouTube)と随時更新
- 各部署単位での新規利用者獲得に向けた、関係機関への営業活動強化

(3) コスト意識の徹底

- 業務のICT化・業務手順・工程の随時更新、適正な業務配分・人員配置の管理
- 月次・週単位での稼働率・稼働額管理。予算執行状況のモニタリング
- 予算計画に基づく、適切な入札管理体制。

3. 経営参加(経営会議の活性化)

- 経営改善と収支の黒字化の実現
- 経営改善5ヵ年計画に沿った経営モニタリング
- 事業収支を見ながら、拡大・縮小・統合部署の検討と実施
- 事業収益に見合う適正な人員配置
- コスト削減に向けた具体的な取り組みの実施
- 各事業所管理者の経営視点の強化。予算管理・財務研修会の実施
- 経営会議での情報収集と分析:収支や事業活動状況の把握
- 各事業所管理者からの積極的な事業展開への提案・実施

4. リスク管理と安全管理

- 感染症対策における実地訓練(手指消毒・ガウンテクニック等)の実施
- 防災会議を活用した、災害・感染症対策へのより具体的な対策訓練(BCP)
- 是正予防処置報告を活用した、業務手順改訂への取り組み強化
- 全体研修会を活用し、各種対策委員会からの情報発信と情報共有

5. 法令遵守

- 介護報酬改定への対応
- 内部監査、第三者評価、顧客満足度調査の活用による法令順守の徹底

6. 地域との共生活動

- 地域貢献事業(パールライフ・子どもテーブル)の実施・拡大
- 地域イベントへの参加(福祉バザー等)
- 小中学校への福祉体験事業の受け入れ
- カイチャレ・インターンシップ・実習生受入の実施
- キッチンパールのテイクアウト弁当、近隣地域への配達
- 二次避難所としての災害時手順の確立、備品の整備、避難訓練の実施
- 第4回世代間交流コンサートの開催に向けた準備